



秋の味覚の代表はなんといってもさんまの塩焼。姿形が刀のようにみえることから秋刀魚（さんま）と書きますが、江戸時代はさんまが河岸に入荷するとお祭り騒ぎになったことから「鯨」と書いたとのこと。

音訳用の記事入力ボランティア募集

大正区の広報誌「こんにちは大正」の音訳ダイヤル「ハロー大正」の記事をPC入力していただくボランティアです。

活動日時 毎月22日～25日の午前9時～午後5時の間
(いずれか1日1～2時間程度)

場 所 大正区ふれあい福祉センター3階
ボランティアビューロー

音訳用の入力の仕方については、職員が丁寧に教えます。
※ 問い合わせ・申込みはボランティアビューローまで



イベントチラシ発送のお知らせ

登録ボランティアグループで行う催しのチラシをビューロー通信と一緒に登録ボランティア宛てに発送させていただきます。

締 切 日 毎月15日までチラシを郵送、または来館で届出
(郵送の場合は、封筒にチラシ発送希望と明記してください)

部 数 110部

※ 問い合わせはボランティアビューローまで



お問い合わせ

大阪市大正区社会福祉協議会 ボランティアビューロー (担当: 繪本・会田)

〒551-0013 大阪市大正区小林西1-14-3

TEL: 6555-7575 FAX: 6555-0687

ボランティアグループ訪問

◎ 地元ナビ.com (じもなび)

10月30日に平尾商店街にて「たいしょうハロウィン商店街2016」を観に行きました。商店街にある「じもなびショップFlat&Tail」には、オープニングの時間の前には仮装した子どもと大人が続々とやって来ました。大きな声で「トリック・オア・トリート!」と言ってスタッフの方からお菓子を貰って嬉しそうな子どもたち。最近、日本でもすっかり定着したハロウィンですが、大正の商店街の中でも



独特な雰囲気がある平尾商店街と不思議にマッチングしている感じがします。そのうち、商店街のあちこちで写真を撮りあったり、店の前でダブルダッチやダンス、または謎のマスクマンが商店街を闊歩し、ゆるキャラのココワグマが出没するなどカオスな光景に(笑)。印象に残ったのは、子どもも大人もみんな笑顔で、大人が本気で楽しんでいて、子どもは素直に面白いことに飛びついている様子でした。昨年からはじめたこのイベントを主催している「地元ナビ.com(じもなび)」は、大正区のお店や企業をホームページで紹介したり、区内のイベントをSNSで紹介するなど、地域活性化のために幅広く活動されている団体です。なかでも、今回のようなイベントの企画や運営を精力的に行なっていて、手作り感のあるイベントで地域の人をどんどん巻き込むことで商店街を元気にしようという思いが伝わりました。大正区で面白いイベントを探している方は「じもなび」のTwitterやFacebookで紹介されていますのでチェックされてみては?

◎ からくり浪漫

秋風が心地よい、11月18日(金)手品サークル「からくり浪漫」の活動が、住宅型有料老人ホーム「アムール大正」で行われました。今回「アムール大正」では、初めてのボランティア活動の受け入れで、参加者の皆さんも少し緊張気味…。そんな中、鮮やかにトランプや、ロープを使ったマジックを披露し、張り詰めた空気を和ませ、いつしか会場内から「上手やねえ～」との声上がるほど、マジックに集中し楽しんでいました。メンバーの國川さんは、「私たちの活動は、お客さんも一緒に参加する形式ですので、マジックに参加することで、皆さんもテレビで見るのとは違った楽しみかたになったと思います。」と話されていました。最後のカーテンコールでは「からくり浪漫」のメンバーと入居者の方が、握手を交わすなど和やかな雰囲気が生まれ、閉会となりました。



※活動取材してほしい団体があれば、ボランティアビューローまでご連絡お願いいたします。